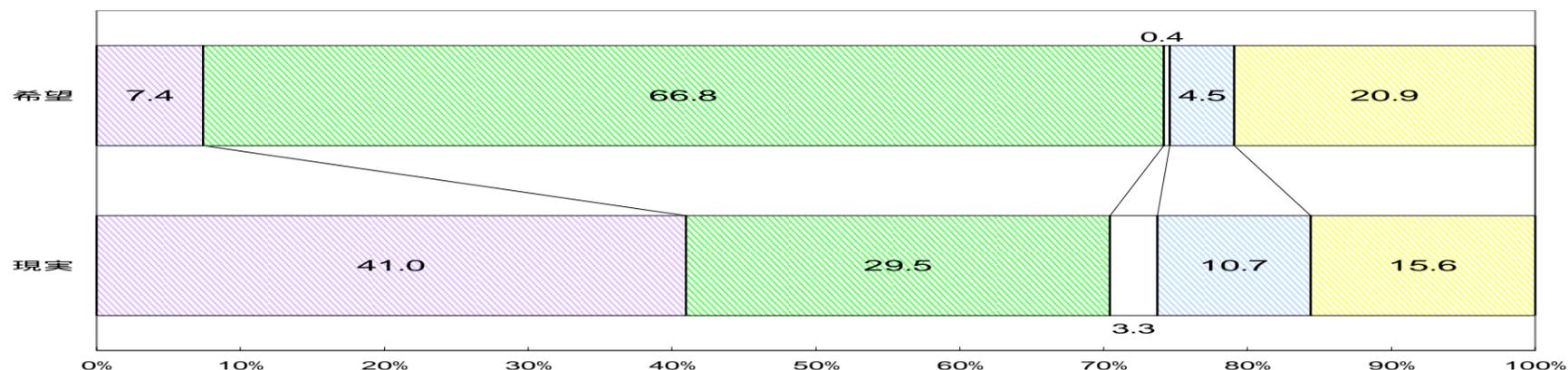


生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方 ～希望と現実～（性別・世代別）

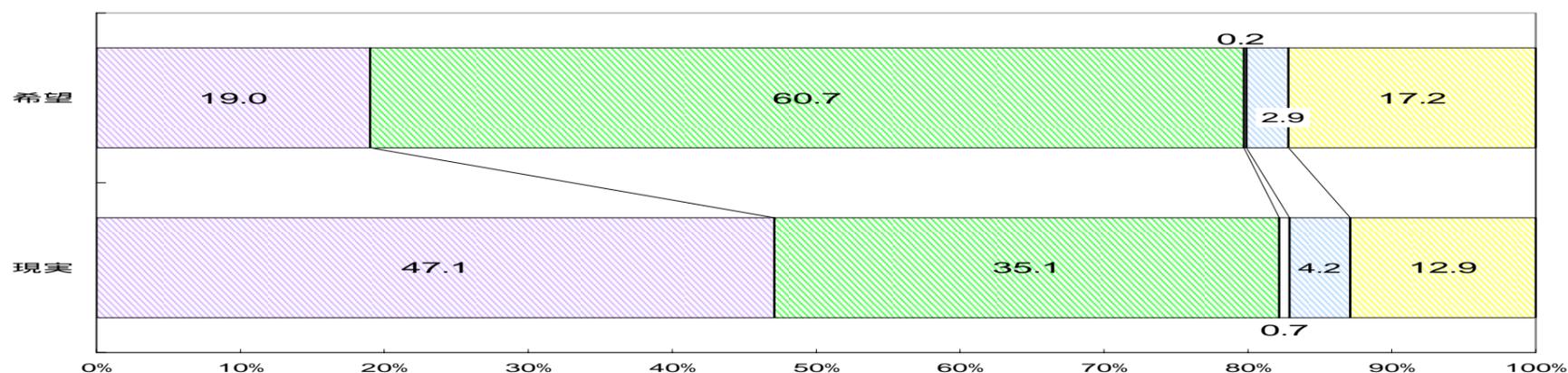
「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成19年8月調査)より作成

調査対象：全国20歳以上の者 5,000人(有効回収数：3,118人,回収率：62.4%)

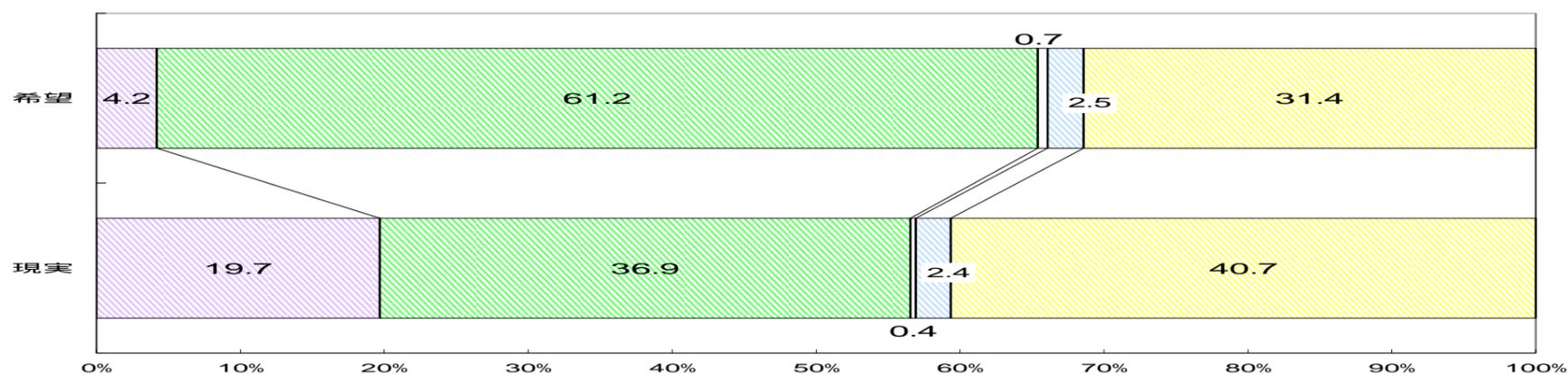
20～29歳(男女)(244人)



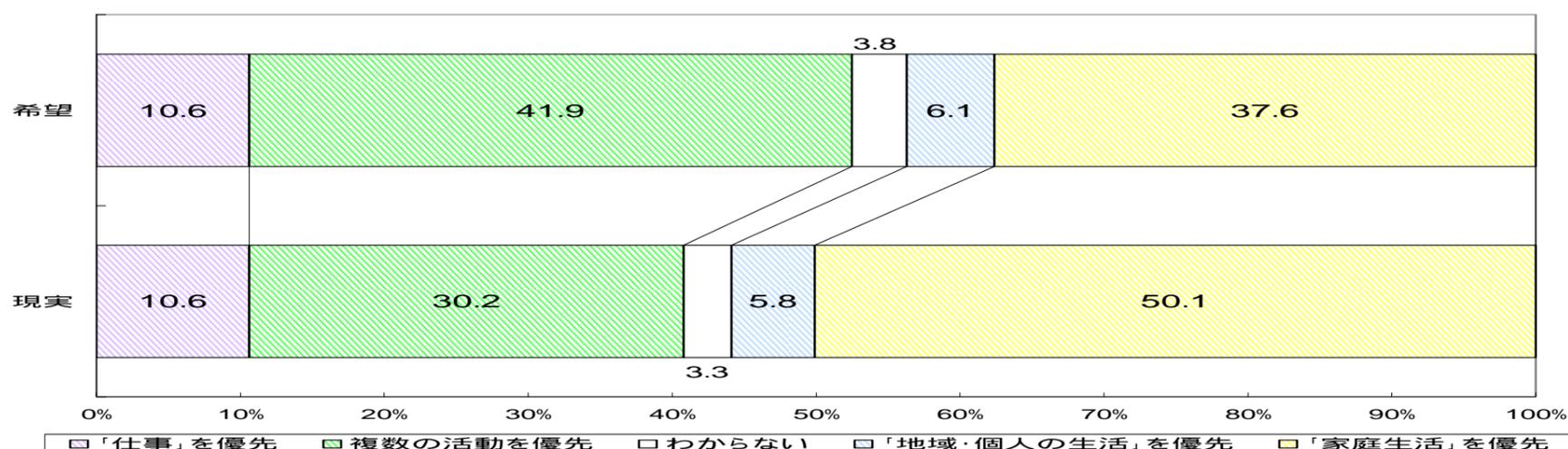
30～69歳(男性)(1025人)



30～59歳(女性)(923人)



60～69歳(女性)及び70歳以上(男女)(926人)



□「仕事」を優先 □複数の活動を優先 □わからない □「地域・個人の生活」を優先 □「家庭生活」を優先

男性20歳代から50歳代までと女性の20歳代は、仕事と家庭生活をともに優先したいという希望が強いが、現実には仕事を優先している者が多い。

女性30歳代から50歳代までは、仕事と家庭をともに優先したい、或いは仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したいという希望が強いが、現実には家庭生活を優先している者が多い。

男性の70歳以上及び女性の60歳以上は、現実及び希望とも家庭生活を優先している者が多い。